

## 2007年 テニス競技実施要項(最終版)

## (1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月28日(日)	受付 8時15分~30分 開始式 8時30分 競技開始 8時45分	県総合運動公園テニスコート

10月28日が荒天の場合は、中止とする。

## (2) 編成及び参加人員

区分	監督	選 手	チーム編成	参加市町数	計	
市対抗	1	一般男子(年齢制限なし) 単1組	8	9名以内	14チーム	297名
		一般男子(年齢制限なし) 複1組				
		壮年男子(45才以上) 複1組				
町対抗	1	一般女子(年齢制限なし) 単1組	8	9名以内	17チーム	
		一般女子(年齢制限なし) 複1組				
		計5組				

5組そろっていることを原則とし、単・複とも、選手の重複は認めない。

ただし、試合ごとに単複のいれかえはしてもよい。年齢は、平成19年4月1日現在とする。

- (3) 競技方法
- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。ただし、初戦に限りそのチームの試合は最後まで行う。
  - イ 試合は、6ゲームズマッチ(6ゲームズオール後、7ポイント先取タイブレーク方式)とし、すべてノーアドバンテージスコアリング方式とする。

ウ 試合前の練習は、サービスのみ(各人4本ずつ)とする。

エ 3位決定戦は行わない。

オ 試合順序は、一般女子複 一般男子複 壮年男子複 一般女子単 一般男子単の順とする。

カ 進行状況把握のため、1試合毎、勝者が、本部に報告する。対抗戦最終結果も、速やかに勝者が報告する。

## (4) 規 定

ア 日本テニス協会競技規則による。

イ 使用球は、日本テニス協会公認ダンロップイエローとする。

ウ マーク(市町名)を着用する。(はがき大)

## (5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

〔学連(日本学生 連盟)登録者を除く〕

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

## (6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の8:30迄に、市町村の会長印を押印の上、変更は認める。

## (7) 表 彰

ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

## (8) そ の 他

ア 選手は監督を兼ねることができる。

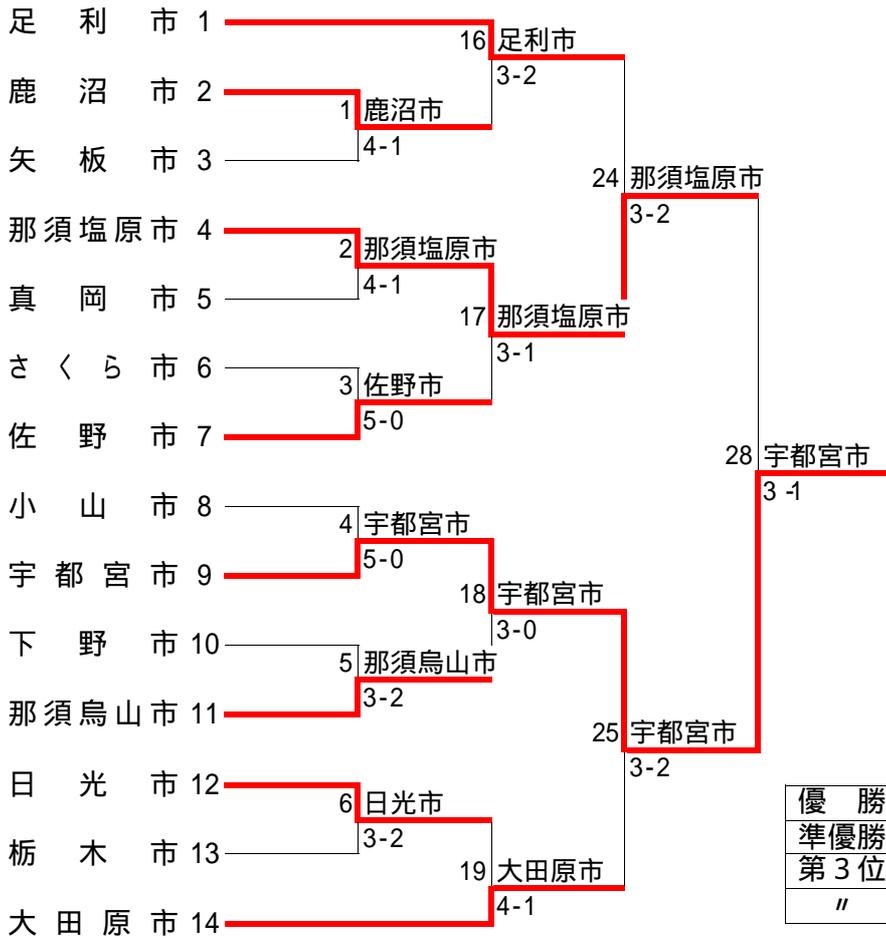
イ 使用球は、持ち寄りとする(1チーム10個用意のこと)。勝者がニューボール受領(次の試合に)。敗者は、セッボールを受領する。

ウ 初戦敗退チームによる交流試合を行うことがある。

エ 所定のオーダー用紙を試合数に応じて、各チームで準備すること。

以上

【市対抗の部】 期日・会場 : 10/28 県総合運動公園テニスコート

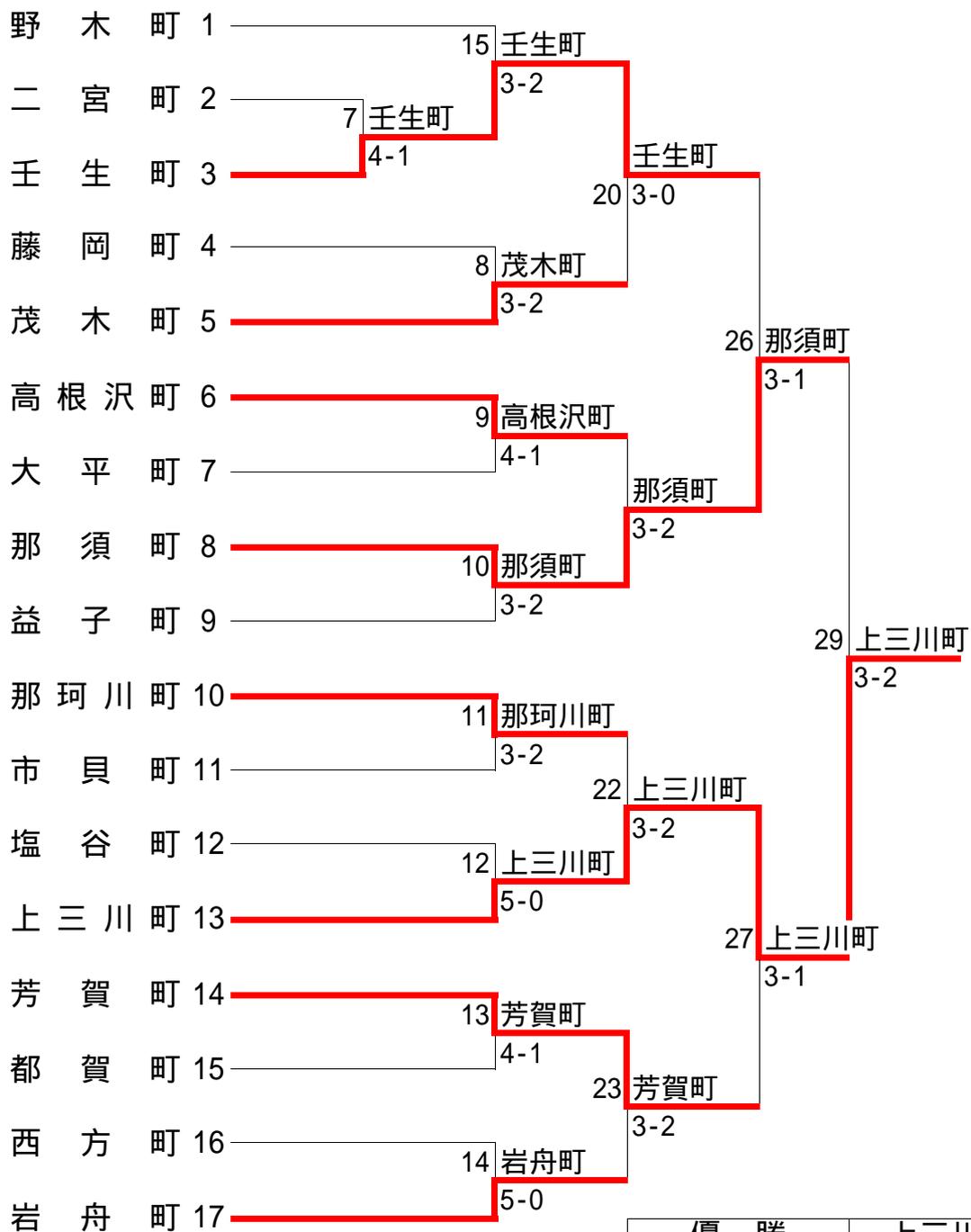


優勝	宇都宮市
準優勝	那須塩原市
第3位	足利市
〃	大田原市

07年の反省点と08年に向けての改善事項(予定)

- (1)自チームの控えと相手チーム用の2部作成する。**その後、自チーム控え用を本部提出とする。**
- (2)選手変更---申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の8:30迄に、市町村の会長印を押印の上、**一般男子・女子・ベテラン各1名のみ変更は認める。**
- (3)**オーダーオブプレー表は、大会パンフレットに来年は掲載しない。**
- (4)**オーダー用紙(兼結果報告書)の見直しをする---**事前準備を忘れるチームが多い。
- (5)**県テニス協会用に「出場選手名簿」を08年には添付する--**名簿により開会式前に監督会議で確認要

【町対抗の部】 期日・会場 : 10/28 県総合運動公園テニスコート



優勝	上三川町
準優勝	那須町
第3位	壬生町
"	芳賀町



市対抗の部  
優勝 宇都宮市



町対抗の部  
優勝 上三川町